



Title	tocant aについての語法研究
Author(s)	長谷川, 信弥
Citation	Estudios Hispánicos. 2007, 31, p. 39-47
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/97971
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

tocant a についての語法研究

長谷川 信 弥

0. はじめに

本稿ではカタロニア語の前置詞句である *tocant a* をとりあげ、文法化の度合いと語法について、その用例を観察することを目的とする。いわゆる機能語である前置詞は、カタロニア語ではその多くがラテン語の前置詞を起源とするものの、内容語からの文法化によって派生し前置詞となったものも少なからず存在する。本稿でとりあげる *tocant a* は、ラテン語の動詞 *tocō* の現在分詞（能動相）の単数対格形 *tocantem* を語源とする *tocant* と前置詞 *a* がイデオム化したもので、規範的辞書である *Gran Diccionari de la Llengua Catalana* (GDLC) においても前置詞句 (*locució preposicional*)¹⁾ として取り上げられ、「～に関して、～について」および「～の近くに [で]」という語義で記載されている。²⁾ *tocant* そのものの品詞については、コーパスからの例証の項で検討する。

1. 先行研究

この前置詞句のみを扱った記述はこれまでのところないと思われるが、詳細な文法書においては同種の形態すなわち現在分詞を起源とする前置詞に関する記述がまず散見される。なかでもBadia i Margarit (1995:246) は、前置詞として機能する動詞からの派生語としてこの語を含む次の一連のリストと例文を提示している。

リスト：現在分詞 (part. de present) : durant, N1mitjançant,
N1 tocant (a), N1 salvant

過去分詞 (part. passat) : llevat (de), tret (de), excepte

例 文 : N1 *tocant al problema de fons, no vol dir-hi res*
(N1=nivell elevat)

「財源問題については何も言いたくない」

これによれば、現在分詞から派生しているものには、最も文法化されている *durant* が筆頭にあげられている。この語はカタロニア語のみならず、スペイン語でも *durante* となり前置詞となっている。また、頻度の高い *mitjançant* も *tocant* 同様に扱われている。この表にある N1 は各語の使用されるレジスターを表しており、これはもっとも「高いレベル」であると説明されているが、具体的には文語体での使用が見られるとの意味である。一方、この表示のない *durant* は、すべてのレベルの発話、書記に見られることを意味しており、文法化が達成されていることを表している。さらに、カタロニア語学の碩学 Pompeu Fabra も一連の前置詞をリストアップしているが、特に強勢を持つ前置詞 (*preposicions fortes*) として、*sobre*, *sota*, *contra*, *entre*, *sense*, *segons*, *des*, *fins*, *envers*, *ultra*, *malgrat*, *durant*, *mitjançant*, *tocant*, *salvant* をあげている [Fabra (1956:74)]。また、Penny (1991:196) もスペイン語に関してではあるが、*durante* の語源について述べている：

“... used in absolute phrases like *durante la comida* whose literal sense was at first ‘while the meal lasted’.”

このようにいわゆる絶対分詞構文がその語源としてあり、そのなかでこの *durante* や *mediante* (カタロニア語 *mitjançant*) のように文法化して前置詞となったものや、この *tocant*³⁾ のように完全な前置詞には至らないものの、それに近い振る舞いをするものが分布することとなった。ここでは語源の詳細には立ち入らないが、これらの現象はロマンス語全体に見られるもので、通時的な記述の必要性があろう。

さて、文法化⁴⁾の点から見ると、Cremades (2002: 1694) は以下のように述べて、*tocant* も文法化の結果によるものであることを示している：

“..., algunes preposicions són el resultat de la gramaticalització de formes no personals del verb, sobretot gerundis i participis (*durant*, *mitjançant*, *no obstant*, *salvant*, *tocant*, *excepte*, *llevat (de)*, *tret (de)*, etc.)”

「前置詞のなかには、動詞の非人称形、特に現在分詞と完了分詞の文法化によるものがある」

また、この説明のあとに、文法化の度合いを具体的に図表として示している。⁵⁾ 左の欄から右にかけて文法化の度合いが減る、すなわち +gramaticalitzat

から -gramaticalitzat)になることを示している。

+ GRAMATICALITZAT		- GRAMATICALITZAT	
P ÀTONA	P TÒNICA	P COMPOSTA	LOCUCIÓ PREPOSITIVA
a, de, amb	sense, entre, segons	cap a, fins a, des de	damunt de, respecte de, a través de, a causa de

Cremades (2002:1696)

この表には例えば左端の欄にあるべき典型的な前置詞en, perなどが含まれていないことや、強勢の有無による音韻的基準と統語上の基準とが混在するなど、表としては不十分な点があり、再考の余地はあるものの、文法化のひとつの指標を提示していると考えることができよう。これによれば、いわゆる前置詞句は最も文法化の低い分類にあたり、やはり表にはないtocant aもここに分類されるものと考えられる。また同種の前置詞であるといえるdurantなどもここでは記載されていないため文法化の度合いの比較はむずかしい。ともあれ、tocant aは文法化の度合いの低い前置詞句として位置づけられているといえよう。

2. コーパスからの例証⁶⁾

2.1 「…の近くで (に)」(37例)

「…の近くで (に)」の意味では37例あったが、変則的な例も含めて見ていく(下線はすべて筆者による)。

- (1) A l'una banda del Valira, que passa tocant a les cases, hi ha els espectadors ; a l'altra banda, l'escenari...

[Amades, Les diades populars catalanes, I (1932)]

「家々の脇を流れるバリェラ川の片側には…」

- (2) Sort que l'estació era tocant a la carretera i vaig poder llegir de cua d'ull el nom del poble. [Artís-Gener, 556 Brigada Mixta (1969)]

「幸いなことに駅は国道沿いにあり、村の名前がちらっと読めたのだ」

まず、(1)は直前にある定形動詞*passa*を修飾していることから前置詞句として機能する典型的な例であるといえる。しかし、(2)のように*ser*の述語となっているものの前置詞句であるか形容詞であるか判断しにくい。というのも、動詞の現在分詞から派生し、完全に文法化していると考えられる形容詞*calent*などは女性形に屈折し、*calenta*となることから、この例で*tocant*が女性形になっていないことを理由にすることはできるが、*calenta*はむしろ例外的なものであり、多くは単数 (-nt) と複数 (-nts) の形態を持つのみである。その他、*ser*と同意の*trobar-se*と共起している例もあった。次例は独立していて、特に名詞を修飾しているとは考えられない例である。

- (3) Als pobles de la Plana de Guissona i altres indrets de la Segarra, tocant a poblat, en paratges que s'anomenen Erals o escampats pel terme, hi abunden uns edificis que s'anomenen perxes o pallisses, perquè...

[Faus i Condomines, Dret especial de la Segarra (1934)]

「ギソーナ平原の村々やサガーラの他の地域では、村々の近くに、…」

(3)では、修飾している名詞句が複数形であるにもかかわらず、*tocant*は複数の形態になっておらず、形容詞としてではなく、これ自身は副詞と理解される前置詞句であるといえる。

- (4) La Carmesina i el Pastor han arreglat amb mantes i sacs el llit, a la vora de la llar, en una mica de banquet de pedra baix que hi ha tocant l'escó.

[Sagarra, La filla del Carmesi (1929)]

「暖炉のあたりの小さなベンチのそばにある低い石の台で…」

(4)は、前置詞*a*のない例で、他にも1例あった。おそらく*tocant a l'escó*となるべきところであろう。

全体としては、複数を表す形態などはあられなく、「近くに」の意味のときの形態は比較的文法化しているといえるのではないかな。なお、現代のカタロニア語では、この「近くに」を表す語彙としては、前述のGDLEにもある通り、*prop de ...*があり、これが最もよく用いられており、口語、文語を問わず、広い使用領域を持っている。このため、ここまでの例文においては、

このprop aに置き換えることは可能である。また、「...近くの」を意味する形容詞にはスペイン語のcercanoにあたるproperなどがあり、tocantが副詞としてのみ使用されるに十分な状況にあることもいえよう。

2.2 「...について」(31例)

ここでは、表記の意味で用いられている例を観察していく。まず、典型的な前置詞句として用いられている例は次の通りである。

- (5) Ens explicà que el seu matrimoni era perfecte, tocant a qüestions econòmiques, ja que el marit treballava per les vesprades en un altre lloc; i que els seus fills es criaven bé. Ella mateixa deia que es trobava satisfeta... [Josep Lluís Seguí, Comedia, 1984]
「彼は、お金の問題については、夫婦は問題ない、というのも夫は夕方には別のところでも働いているので、(...)と私たちに説明した。」

例文(5)がこの意味での最も典型的な例であり、このように名詞(句)を伴う同様の例は21例見られた。これらすべてtocant aの形態であり、異形はなかった。これらの例では、副詞句として独立して用いられているか、動詞を修飾し、前置詞句として用いられていることが明確に確認できる。

- (6) perquè ...[(després, molt confusa, però incapaç de fer-se enrera tocant al que ha dit.)) [Gabriel Bas, Diàlegs de Carmelites (1964)]
「...しかし、前言に関しては翻すことができません...」(カッコはト書きであることを表す)

(6)は、tocant aのあとに関係節el queを従える例であるが、これも上記(5)と同じであるといえる。しかし、あたかも形容詞句として前方の名詞(句)を修飾していると考えられる例が次の(7)である。

- (7) ...o les vivien amb més flexibilitat, les normes socials tocant al temps de l'oci i al del treball els feien entendre que els dies de festa, en especial els dissabtes a la nit i els diumenges de vesprada, podien trobar-se l'altre acompanyat, si anaven a buscar-se o es telefonaven.

[Josep Lluís Seguí, Comèdia, 1984]

「(...) 余暇時間と労働時間に関する社会的規範は、彼らに (...) であると理解させるものであった」

この例では、*tocant*はどの動詞にも修飾せず直前の*les normes socials*（社会的規範）を修飾する形容詞句であると考えるのが妥当な例である。しかしながら、スペイン語同様、カタロニア語でも本来は前置詞句が名詞を修飾することには抵抗がある。にもかかわらず、このタイプの例は多く、計103例みられた。

ここでは、この女性名詞複数形*normes*に形態が一致することなく修飾していることから、これが形容詞となっているとは判断されないであろう。しかし、後述するように一致の例も少なからずみられる。続いて、変則的であると考えられる例を観察していく。

- (8) *Tocant en* aquest punt també ens hem de guardar prou bé de prendre a la lletra certs propòsits dels sants, ...

[Gabriel Bas, *Diàlegs de Carmelites* (1964)]

「この点に関しては...」

(8)は*tocant*のあとに*a*ではなく*en*が用いられている例で、唯一の例であった。ここは、*en*に支配される名詞句*aquest punt*が*aquest*で始まっていることから*en*が使われているものと考えられる。これは例えば、*anar a*「～に行く」と前置詞*a*が規範的な場合でも、あとに指示形容詞や不定冠詞など母音で始まる語がくる場合には*en*に替わる (*anar en un poble*) ことで説明がつく。続いて(9)、(10)は変則的な例である。

- (9) *no existix un parixer unánim y marcat en lo tocant al* orige siquiera probable de les falles

[*Publicacions Periòdiques, Pensat y Fet*, 1, València, (1912)]

「フアリャの考えられうる起源に関しては、共通の、特筆すべき意見はない」

(10) Per lo tocant als saraus y jochs en la tarde dels dias festius...

[Un centinella del any vuit, Vetlladas a la vora del foch y a la llum de la lluna, I (1871)]

「祝日の午後の茶話会や遊びに関しては…」

(9)は、en lo tocant aの例で、スペイン語のen lo tocante aと同じタイプのものである。本例の出典が1912年の例であり、形態や正書法も現代のものとは異なり安定していないと考えられ、またバレンシアでの例であること、さらにはカタロニア語にはない、スペイン語の中性冠詞loが用いられていることを考慮すると、スペイン語の影響を受けた表現であると考えてよいと思われる。これと同種の例文は19世紀に2例あり、計3例であった。次に、(10)は、perが用いられている例で、またloも用いられているが、カタロニア語特有のals (<a+els) もあり、形態の安定していない例と考えられる。この形態の例は1855年にも2例見られ、上述の(9)の例とあわせて、現代の形態に達する前段階の過渡期的な表現であるといえるのではないだろうか。

最後に、(7)でも述べた、形容詞として用いられていると考えられる例についてみると、(11)のような例が比較的多く見られる。

(11) ...tot i que les prescripcions del Codi tocants a la repressió dels atemptats contra la propietat no hagin variat.

[Eduard Feliu i Mabres, El noi que roba : lladre o malalt? (1985)]

「所有権に対する犯罪行為の抑制に関する法の時効規定が変わらなかったにもかかわらず…」

(11)ではtocantがあたかも形容詞であるかのように屈折している。ここではprescripcionsを修飾していると考えられるが、この名詞が女性名詞であるため、calentのように女性複数形calentesとなるか、またはevidentなどのようにevidentsと複数を表すのみの形態を示すかのどちらかで、結果的に後者の形態をとっていることがわかる。(12)は1985年の例であるが、このようにtocantsとなる例は、1835年から1957年までの例文にあるのみで、計18例あった。ちなみに前項の「～の近くに」の意味での複数形tocantsは例がなく、形容詞としてではなく、副詞として使用されている。この(11)と前述の(7)を比べてみる

と、後者のタイプの例文が103例であり、形容詞ではなく副詞として、つまり *tocant a* という前置詞句として優勢であることは明らかである。また、例文の生起していた年代をみても、特に現代では前置詞句としての使用が確認できよう。

3. まとめ

本稿では、*tocant a* の持つふたつの意味に沿ってコーパスからの例を観察した。ともに文語体での使用が主であるとの *Badia i Margarit* の指摘どおり、多くが小説や戯曲あるいは民族誌などからなる本コーパスから採取できた用例は30例ずつあまりとそれほど多くはない。「近くに」の意味の前置詞 *prop* の例を検索すると、8,000例を超えるのとは対照的である。また、「…について」の意味での形態上の異形の存在や統語的なゆれも若干ながら指摘できる。このように、前置詞句としてイディオム化は達成されているものの、使用頻度や形態統語上の観点からさらに観察が必要であると思われる。さらに、文法化の度合いの点からは、*durant* など同種の前置詞との比較も必要となつてこよう。

注：

* 本稿は、関西スペイン語学研究会第288回研究会（2005年12月26日開催）での発表をもとにしたものである。

1) 前置詞（句） *preposicions*, *locucions preposicionals*、または *locucions prepositives* とも表記される。

2) GDLC (pàg. 1645), *tocant* の項の後半には以下の記述がみられ、ともに前置詞句の表示がなされている：

2 *tocant a loc prep* Relativament a, amb relació a. *Tocant a la vostra pregunta, us respondré que...*

3 *tocant a loc prep* Prop de, a la vora de. *Viuen tocant a la plaça.*

3) なお、スペイン語では後述の通り *en lo tocante a* となるのが普通。

4) 文法化についての詳細は、Cifuentes Honrubia (2003), 13-64ページ参照。

5) 表中の P ÀTONA は強勢のない前置詞、P TÓNICA は強勢のある前置詞、P COMPOSTA は複合前置詞を表す。

6) 参考までにスペイン語での用例は CREA によれば、*tocante* で検索すると結果は360例あり、うち、*en lo tocante a* は270例、*tocante a* は62

例あり、また数例あったものには (en) todo lo tocante a, tocante con, por lo tocante, el tocante con el problema...という例もあった。つまり大半は (en lo) tocante a だったことになる。

参考文献

Badia i Margarit, A. M. (1995) *Gramàtica de la llengua catalana*. Edicions Proa.

Cifuentes Honrubia, José Luis (2003) *Locuciones prepositivas : sobre la gramaticalización preposicional en español*. Universida de Alicante. Servicio de Publicaciones.

Cuenca Ordinyana, M^a. J. (2005) *Sintaxis catalana*. Editorial UOC.

Fabra, P (1956) *Gramàtica catalana*. Ed. Teide.

Hopper, P. J. and Traugott, E. C. (1993) *Grammaticalization*. Cambridge University Press. (日野資成訳 (2003) 『文法化』九州大学出版会)

Penny, R. (1991) *A History of the Spanish Language*. Cambridge University Press.

Sancho Cremades, P. (2002) “La preposició i el sintagma preposicional”, dins Joan Solà (dir.), *Gramàtica del català contemporani*. 3vols. Ed. Empúries. [vol.2,11]

参考辞書

GDLC=*Gran Diccionari de la Llengua Catalana* (1998), Barcelona : Enciclopèdia Catalana.

資料体

el Corpus Textual Informatitzat de la Llengua Catalana (Corpus)

<http://pdl.iecat.net/entrada/paraules.asp> (最終アクセス日2005年12月24日)

CREA <http://www.rae.es/> (最終アクセス日2005年12月24日)